

授業科目名	社会科学の基礎(2000021)		
時間割名	社会科学の基礎(13105)		
時間割担当	西川弘展		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	月・3		

授業の目標・概要

現代社会科学の基礎的諸事項を学び、その知識を活用して現代社会の諸現象を考察する。このことを通じて、現代社会への系統的で深い理解に到達することが目標である。この目標を達成するために、まず、現代社会において重要な位置を占める経済学を取り上げ、その諸理論の基礎を学ぶ。次に、それら諸理論を活用して、経済現象を含む社会現象全般に経済学諸理論を応用した事例を学ぶ。加えて、これと隣接する諸領域との関連性にも視野を広げながら、社会科学諸領域と現代の社会現象との相互的で立体的な理解を目指す。

学習の到達目標

- (1) 社会科学の基礎的事項の知識の習得と活用
- (2) 社会科学の一典型としての経済学説史の基礎事項の習得と活用
- (3) 社会科学、とりわけ経済学の基礎的理論の習得と活用
- (4) 社会現象に対する関心と理解を一層促進させ、受講者各自の生活領域や専門領域との関連で考える習慣の定着

授業方法・形式

講義形式で行う。

授業計画

- 第1回：社会科学の在り様(1) 内田義彦『社会認識の歩み』に即して
 第2回：社会科学の在り様(2) 大塚久雄『社会科学における人間』に即して
 第3回：社会科学の在り様(3) 経済学の展開：1
 第4回：社会科学の在り様(4) 経済学の展開：2
 第5回：社会科学の在り様(5) ケインズの事例
 第6回：現代社会の諸問題(1) 経済成長
 第7回：現代社会の諸問題(2) 格差・貧困
 第8回：現代社会の諸問題(3) 公債累積
 第9回：現代社会の諸問題(4) 金融危機
 第10回：現代社会の諸問題(5) 電力・資源
 第11回：現代社会問題の経済学的分析(1) 経済分析の基本
 第12回：現代社会問題の経済学的分析(2) 人的資本
 第13回：現代社会問題の経済学的分析(3) 教育改革
 第14回：現代社会問題の経済学的分析(4) 高医療費
 第15回：現代社会問題の経済学的分析(5) 高齢化

成績評価の基準

平常点(15%) + レポート(30%) + 定期試験(55%) で評価。

授業時間外の課題

レポートの提出を求める。レポート提出の要領は授業中に指示する。
 授業内容と関連する相応の自学自習が必要。

メッセージ

探求心と探求を实践するという決意と態度を求める。

教材・教科書

教科書は使用しない。

参考書

主な参考文献リストは初回授業で配布する。
 それ以外の参考書は授業のつどに紹介する。